

株式会社 前里工業

DX宣言書

2025年6月30日
株式会社 前里工業
代表取締役 滝澤 正徳

□ 経営理念

解体業、産業廃棄物収集運搬業及び中間処分(破碎処理・造粒固化)業を社会のニーズに応じて展開し、自社及び処理受託した産業廃棄物を適正に処理し、再資源化を推進することにより、循環型社会構築の一翼を担っていきます

また、企業活動においては、地域との協調、安全の確保、効率的な活動により、お客さまや地域の信用、信頼に応え、社員一同日々精進し、基本方針に基づき活動を進めます

このため、経営における課題やチャンス را踏まえ、環境経営の継続的な改善に努めます

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用して、業務の標準化・効率化を推進することで、業務の引き継ぎを容易化し、休暇を取得しやすい職場環境を整備します
- ◆ 継続的な業務改善を進めるとともに、新たな事業展開を見据えた体制を整えることで、持続的に成長する会社を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年12月)

戦略 「DX推進に向けた土台づくり」

- 施策
- ・ 現状の業務を把握するため、業務フローを可視化し、負担が大きい作業や属人化している業務を抽出
 - ・ どの業務課題から取り組むべきか、改善効果と実現可能性を考慮して優先順位を整理
 - ・ 外部専門家からの協力も得ながら、段階的に改善を進めるDX実行計画を策定
 - ・ 紙のマニフェスト入力作業の効率化のため、OCR技術を活用した入力自動化を実施する等、効果が早期に期待できる業務から改善を開始

➤ フェーズ2(2026年1月 ～ 2027年6月)

戦略 「情報の一元化と業務連携の強化」

- 施策
- ・ 勤怠管理や日報にかかる一連の業務を効率化するため、勤怠管理システムの導入および日報の電子化を推進
 - ・ 重複入力や転記の手間を減らすため、業務情報の一元管理ができる環境を構築
 - ・ 情報の見える化による業務判断の迅速化に向けて、工事原価や進捗状況をリアルタイムで把握できる仕組みを整備

➤ フェーズ3(2027年7月 ～ 2028年6月)

戦略 「業務改善の定着化と新たな価値創造」

- 施策
- ・ これまでのDX施策を振り返り、進捗状況や課題を洗い出すことで、継続的な改善の仕組みを定着化
 - ・ 業務を引き継ぎやすく、休暇が取得しやすい職場づくりに向けて、作業手順や対応フローを明確にし、マニュアルとして整備・更新
 - ・ 報告業務の負担軽減に向けて、電子化された業務データを活用し、提出書類や集計作業の自動化を実施
 - ・ 社内に蓄積されたノウハウを基に、新たなサービスや事業展開の方向性を検討

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ DX実行計画の策定 : 完了(～2025年12月)
- ・ 紙の使用量削減率 : 2024年度比 80%(～2028年6月)